

教科名	工業	科目名	建築施工	
科目の目標	建築施工に関する知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。			
履修学年	3 学年	学科・コース	建築科	
単位数	1 単位	授業形態	一斉授業	
教科書	建築施工 (実教出版)	副教材等		
1 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・建築生産における一連の技術活動（企画・設計・施工）と関連付けながら理解させる。 ・社会的、経済的要素の大きい総合的で実務的、体験的な分野などを養うこと。 ・建築物の品質は管理、指導にあたる技術者はもちろんのこと各作業に従事する技能者の技能、能力に負うところが大きいので、技術、技能を関連付けながら理解させる。 			
2 学習内容と進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の内容を中心に、施工の意義を明確にし基本事項を学ぶ。 ・絵や図により理解を深め、建築施工についての基礎的、基本的な知識を学ぶ。 ・施工関係者、企業の形態と特質を、さらに建築施工の方式と建築業務のあらましについて学ぶ。 			
3 学習の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・工事はどのような方式で実施されるか、施工者はどのように選定されるのか学ぶ。 ・工事の計画や管理は現場の経験を積んでその要領が会得できるか、基本的な事項について学ぶ。 ・基本的な「知識・理解」について、自分の言葉で、その背景などを説明できる力を身につける。 			
4 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査において、「知識・理解」「思想・判断・表現」を中心として評価します。 ・「関心・意欲・態度」については、建築施工について興味を持ち、日頃から授業に取り組む姿勢を評価します。 ・「技能」については、考査後のノート、授業中のプリント(演習問題)などを中心に評価します。 			
5 授業計画				
月	単元	学習内容	評価の観点	考査等
4	「建築施工について」 第6章 鋼構造の工事	オリエンテーション	【関】技術・技能について理解しているか。 【技】ノート等を整理しているか。	期末考査 この単元を自己評価してみよう A B C
5		1 基礎	【関】骨組工事に関する基礎的な知識と技術について関心を持ち、その工法の習得に向けて意欲的に取り組み、理解しているか。	
6		2 骨組(柱と梁)	【知】鋼構造の基礎・スラブ耐火被覆・仕上げに関する基礎的な知識と技術を身につけ、基礎工事の工法の意義や役割を理解しているか。	
6			【思】鋼構造に関する基礎的な知識と技術をもとに、基礎工事・骨組・スラブ耐火被覆・仕上げの工法について理解しているか。	
7		3 スラブ	【技】鋼構造の基礎的な知識を習得を表現するため、ノート等を整理しているか。	
8		4 耐火被覆		
		5 仕上げ		

9	第7章 建築物の保全	1 保全の分類と考え方 2 保全の方法	【関】建築物の保全に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、保全の分類と考え方および保全の方法を意欲的に取り組み、理解しているか。	中間 考査 この単元を自己評 価してみよう A B C
10	第8章 解体工事と環境保全	1 解体工事 2 環境保全	【思】解体工事・環境保全に関する基礎的な知識と技術をもとに、建設廃棄物の処理と再利用の方法について理解しているか。	期 末 考 査 この単元を自己評 価してみよう A B C
11	第9章 建築の業務	1 工事契約 2 現場組織の編成	【知】工事契約・現場組織に関する基礎的な知識と技術を身につけ、発注方式、契約方式、契約内容、建築現場組織の人的配置の意義や役割を理解しようとしているか。	学 年 末 考 査 この単元を自己評 価してみよう A B C
12				
1				

【関】は「関心・意欲・態度」、【思】は「思考・判断・表現」、【技】「技能」、【知】は「知識・理解」をあらわす。